

## 志願者・保護者対象『大学受験志望校選定に関するアンケート』

志望校選定の相談相手1位は 男子「誰にも相談していない」女子「高校の先生」

入学祝いに欲しいプレゼントは、1位「パソコン(51.8%)」2位「スマホ(28.9%)」

大学などの受験料支払いサービスを提供する株式会社オプト・ジャパン(本社:東京都新宿区、代表取締役 柳田 謙治)は、2013年度大学入試の志願者・保護者を対象とした、大学受験志望校選定に関するアンケートを実施しました。当社が提供する「E-支払いサービス」※を通じて行い、志願者477名、保護者883名、合計1,360名から回答を得ました。本調査結果は、顧客である大学に対する新サービスとして実施したもので、4月以降に大学側にフィードバックする予定です。

※「E-支払いサービス」とは

大学・短大、大学院、附属学校、小・中・高校、専門学校等の受験料(入学検定料・入学選考料)を、クレジットカードや全国約44,000店舗のコンビニエンスストア等を利用して、24時間365日、いつでも支払い・申込みができるサービスです。2013年度入試(2013年4月入学)現在、導入校は218校。2012年度の利用件数は272,539件。

## 【アンケート調査概要】

実施期間:2012年12月11日~2013年2月28日

調査方法:サイト内で受験料支払い手続き完了後、任意で回答

調査対象者:「E-支払いサービス」利用者(志願者・保護者)

有効回答数:志願者477名、保護者883名、合計1,360名

## 【ポイント】

## ■第1志望校の決め手は「教育内容の充実」や「設備・雰囲気」(Q1)

⇒志願者、保護者とともに、1位「教育内容が充実している」、2位「学校の設備・雰囲気がよい」、3位「知名度が高い」でした。志願者と保護者で特に差が大きかったのは、「ブランドへの憧れ」。保護者が17.4%にとどまっているのに対し、志願者は39.4%(複数回答)と倍以上となりました。志願者の方がブランドへの憧れが強いことが伺えます。

## ■志望校選定の相談相手1位は 男子志願者「誰にも相談していない(23.1%)」、女子志願者「高校の先生(27.0%)」(Q2)

⇒男女別に見ると、男子志願者は「誰にも相談していない」が1位。女子志願者は1位「高校の先生」、2位「母親」となり、「誰にも相談していない」は3位でした。また、男子志願者は父親、女子志願者は母親に相談するという割合が高く、同性の親の意見をより参考にしていることが伺えます。

## ■保護者の6割以上が、志望校選定に関与。イベントへも積極的に参加。(Q4、Q5)

⇒男性、女性保護者ともに、「志願者の意向を中心に一緒に選定した」という回答が6割以上(男性保護者63.5%、女性保護者62.7%)(単数回答)でした。わずかではありますが、男性保護者(父親)の方が、女性保護者(母親)を上回る結果となり、父親が母親とともに、志願者の進学に関与していることが伺えます。また、志願者が高1・高2時に1割強、高3時には2割強の保護者が、志願者とともにオープンキャンパスに参加していることもわかりました。

## ■第1志望校のオープンキャンパス、2割以上(複数回答)の志願者が「高1・高2時に参加」(Q5、Q6)

⇒志願者の24.3%(複数回答)が、第1志望校のオープンキャンパスに「高1・高2時に参加した」と回答。第1志望校選定時期は、その57.7%が「2011年11月以前」と回答し、早くにイベントに参加した人は選定時期も早いことがわかりました。

## ■入学祝いに欲しいプレゼントは、1位「パソコン(51.8%)」・2位「スマホ(28.9%)」(複数回答)(Q7)

⇒志願者が入学祝いに欲しいプレゼントは、1位「パソコン」、2位「スマホ」、3位「現金/金券」。保護者が入学祝いにあげたいプレゼントは、1位「パソコン」、2位「スマホ」、3位「スーツ」となりました。志願者と保護者で差が出た「現金/金券」は、男性保護者(父親)9.4%、女性保護者8.5%(母親)に対して、男子志願者24.2%、女子志願者28.9%となり、志願者は自分で欲しいものを選んで購入したいことが伺えます。

※調査の詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

## 【会社概要】

社名:株式会社 オプト・ジャパン

設立:1990年5月11日

代表者:代表取締役 柳田 謙治

URL:<http://www.optjapan.com/>

資本金:8,612万円(2013年3月現在)

従業員数:18名(2013年3月時点)

所在地:東京都新宿区西五軒町1-1 西五軒町ビル [TEL] 03-5261-9791 [FAX] 03-5261-9792

事業内容:入学検定料収納代行に関するシステム開発・運用等 主要株主:三菱総研DCS株式会社(<http://www.dcs.co.jp/>)

## 【本件に関するお問合せ先】

株式会社オプト・ジャパン

広報担当:西出(ニシデ)

TEL:03-5261-9791

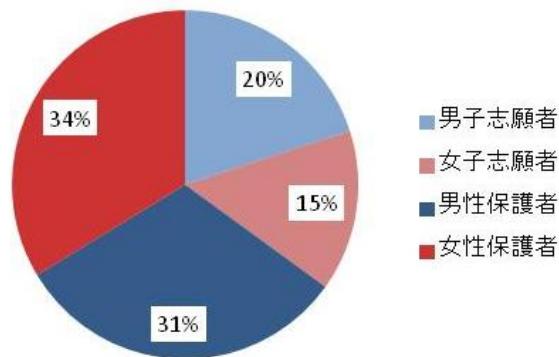
PR会社:株式会社アネティ

担当:仲村・真壁(マカベ)・岡崎

TEL:03-5475-3488

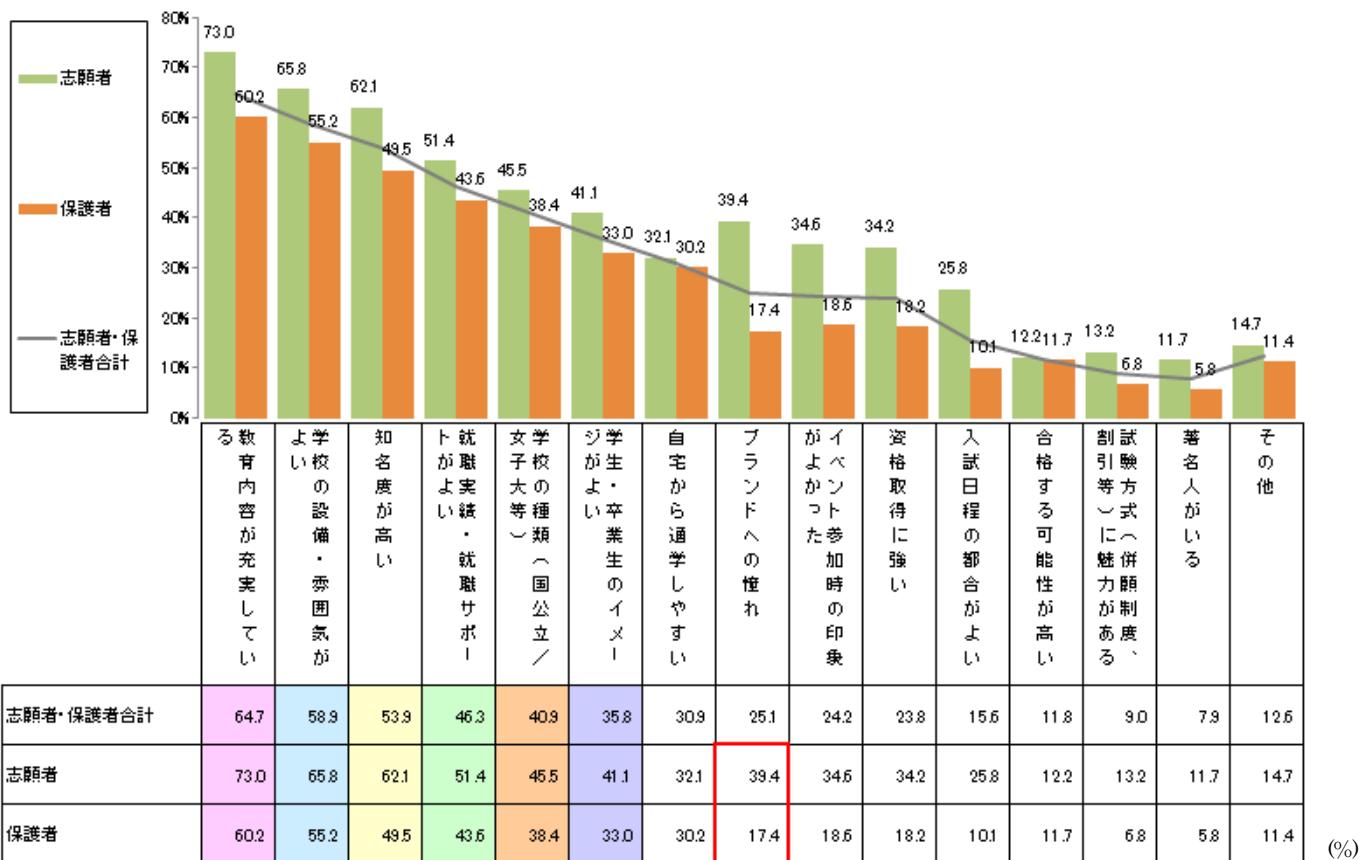
## 【アンケート調査 集計結果（抜粋）】

### ●回答者の属性



### ● 志望校選定の決め手

Q1. 第1志望校の決め手は何ですか？(複数回答)



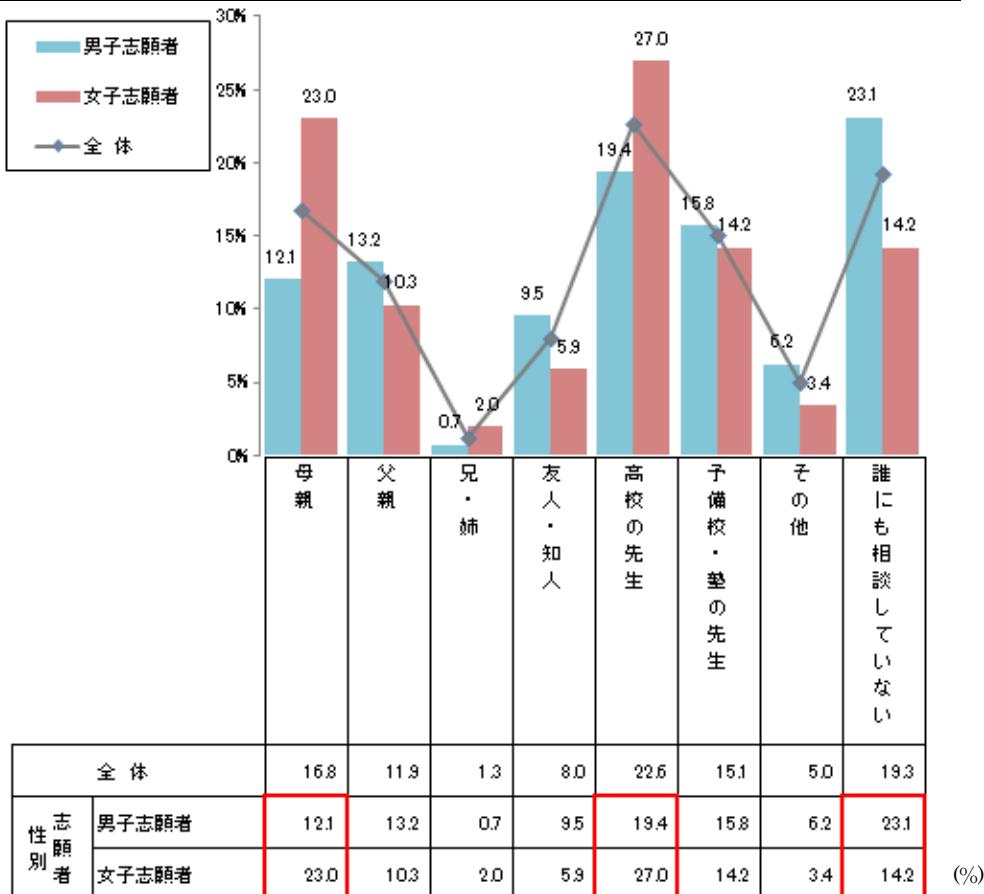
・志願者、保護者ともに、1位「教育内容が充実している」、2位「学校の設備・雰囲気がよい」、3位「知名度が高い」となりました。

・「就職実績・就職サポートがよい」は、志願者、保護者ともに4位となりました。今春卒業予定の大学生の就職内定率が81.7%（※）と就職が難しい時代といわれるなか、志願者は51.4%、保護者は43.6%と、ともに50%前後の回答でした。

・志願者と保護者で最も差が大きかったのは、「ブランドへの憧れ」です。志願者が39.4%なのに対して、保護者は17.4%にとどまり、志願者は保護者に比べ、大学へのブランド意識が高いことが伺えます。

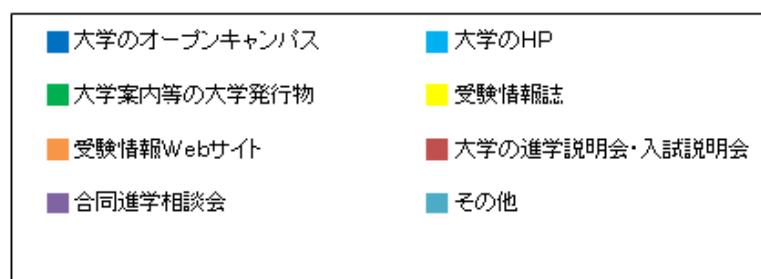
※文部科学省、厚生労働省調査より。2013年2月1日現在。

## Q2. 今年受験する大学を決定する際に、誰の意見を一番参考にしましたか？(複数回答)



- 全体で見ると「高校の先生」が 22.6%、次いで「誰にも相談していない」が 19.3%となりました。
- 男女別に見ると、男子志願者は「誰にも相談していない」が 23.1%と最も多い結果です。女子志願者は「高校の先生」 27.0%、次いで「母親」23.0%となり、「誰にも相談していない」は 14.2%にとどまりました。また、男子志願者は父親、女子志願者は母親に相談するという割合が高く、同性の親の意見をより参考にしていることが伺えます。

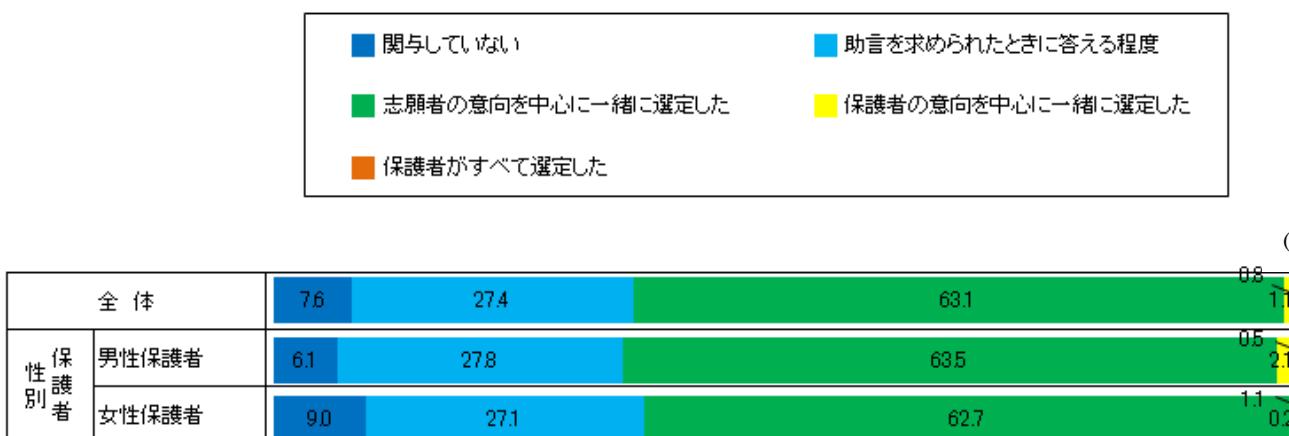
## Q3. 第1志望校を決める際に、最も参考となった情報(偏差値以外)は何ですか？(単数回答)



- 志願者、保護者ともに「大学のオープンキャンパス」が最も多い結果となりました。次いで「大学の HP」でした。
- 志願者は保護者に比べ、「大学の HP」や「大学案内等の大学の発行物」の割合も高く、バランスよく情報を入手し、参考にしていることがわかりました。

## ● 受験への親の関与

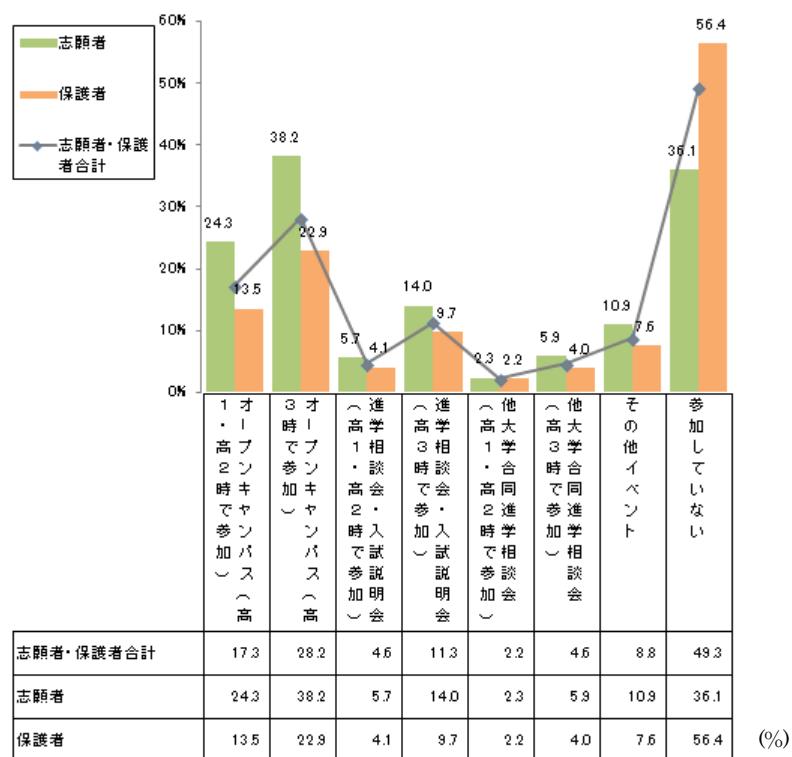
### Q4. 志望校の選定について、どの程度関与しましたか？(単数回答) ※保護者のみ回答



- ・男性保護者(父親)、女性保護者(母親)ともに、「志願者の意向を中心に一緒に選定した」が6割以上(男性保護者63.5%、女性保護者62.7%)でした。わずかではありますが、男性保護者(父親)の方が、女性保護者(母親)を上回る結果となり、父親が母親とともに、志願者の進学に関与していることがわかりました。
- ・その一方で、Q2の「今年受験する大学を決定する際に、誰の意見を一番参考にしましたか？(複数回答)」では、全体で母親が16.8%で、父親(11.9%)を上回る結果となり、ギャップが見られました。

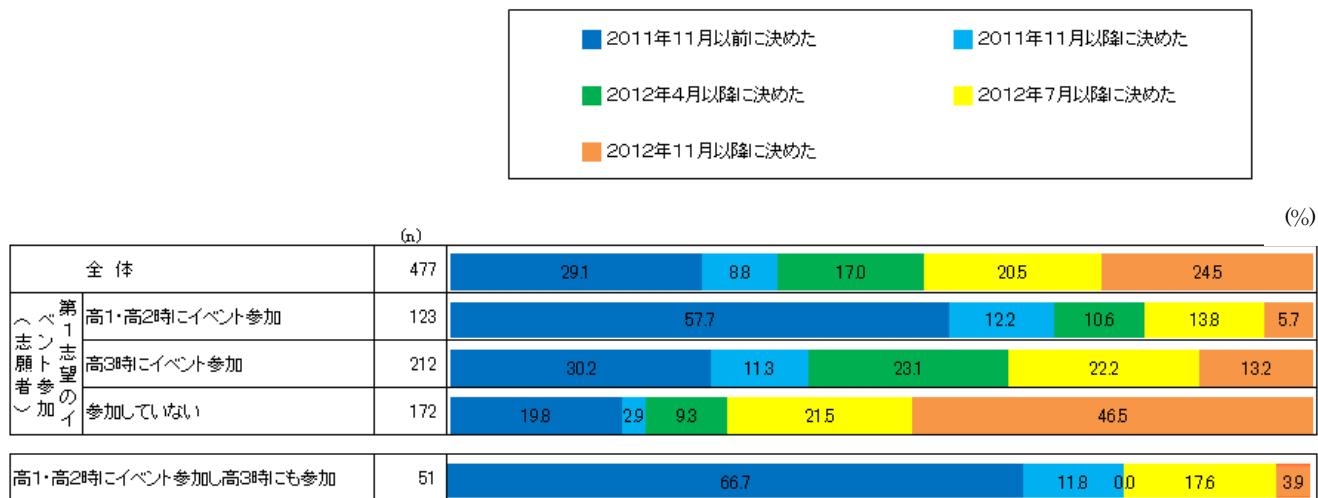
## ● 大学イベントの参加

### Q5. 今年受験する第1志望校に関して、どのイベントに参加しましたか？(複数回答)



- ・「参加していない」と回答した志願者は36.1%にとどまり、多くの志願者がイベントに参加しているという結果となりました。
- ・42.3%の志願者が、高1・高2でオープンキャンパスに参加しており、早くから情報収集をしていることがわかりました。
- ・また、志願者が高1・高2時に13.5%、高3時には22.9%の保護者が、志願者とともにオープンキャンパスに参加していることもわかりました。

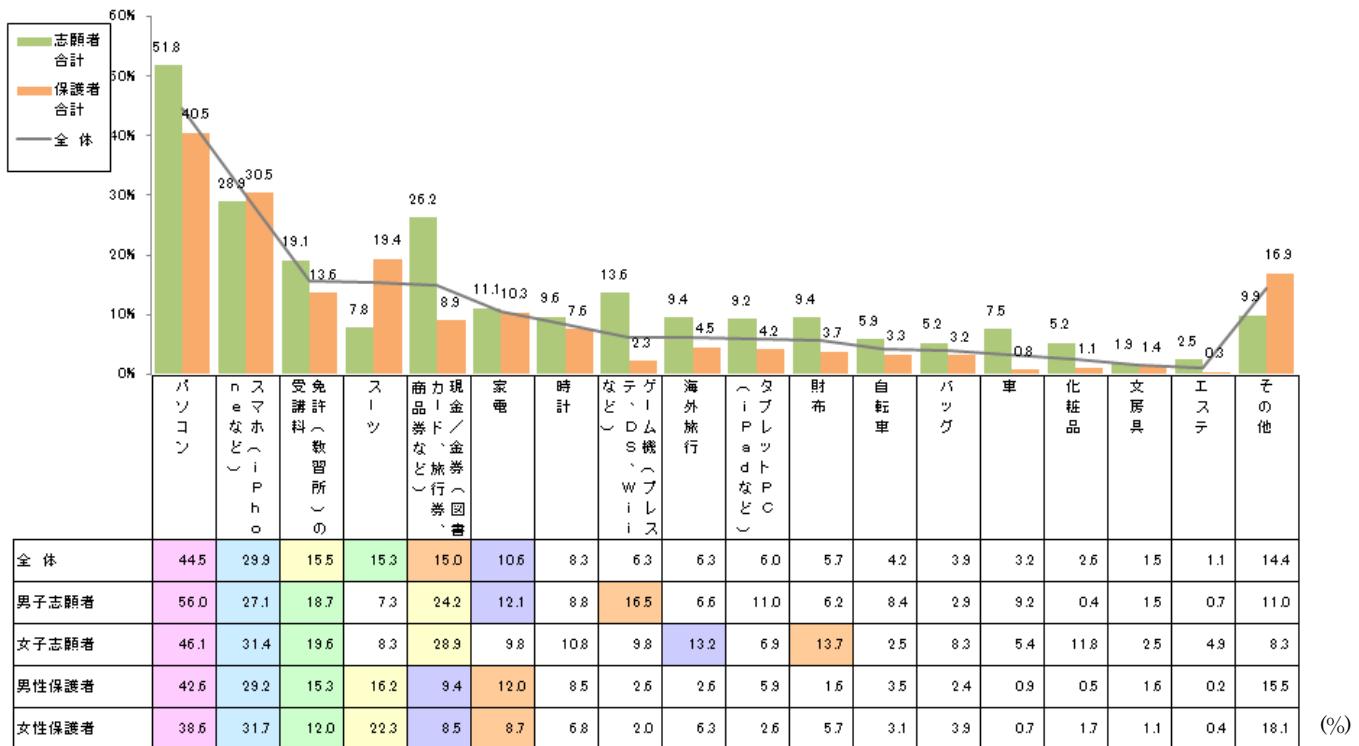
Q6. 志願者の第1志望校の選定時期とイベント参加(単数回答) ※志願者のみ回答



- ・全体で見ると、「2011年11月以前」(29.1%)が最も多く、次いで「2012年11月以降」(24.5%)でした。
- ・高1・高2時にイベントに参加した人は57.7%が「2011年11月以前」と回答、「2012年11月以降」はたったの5.7%で、早くにイベントに参加した人は選定時期も早いことがわかりました。その反面、イベントに参加していない人は、「2012年11月以降」が46.5%となり、ギリギリに選択する人が多い結果となりました。
- ・高1・高2時にイベントに参加した人のうち約4割が高3時でもイベントに参加しています。幅広く情報を集め、志望校を選択しているのではないかでしょうか。
- ・大学側にとっては、高1・高2の生徒へのアプローチが重要であることがわかる結果となりました。

## ● 合格祝い(入学祝い)のプレゼント

### Q7. 大学合格後の合格祝い(入学祝い)に何が欲しい／プレゼントしますか？(複数回答)



- ・志願者が入学祝いに欲しいプレゼントは、1位「パソコン」51.8%、2位「スマホ」28.9%、3位「現金／金券」26.2%。保護者が入学祝いにあげたいプレゼントは、1位「パソコン」40.5%、2位「スマホ」30.5%、3位「スーツ」19.4%となり、3位について、大きな差が出ました。
- ・「スーツ」は、男子志願者 7.3%、女子志願者 8.3%に対し、男性保護者 16.2%、女性保護者 22.3%でした。
- ・「現金／金券」は、男性保護者 9.4%、女性保護者 8.5%と 1割にも満たなかったのに対し、男子志願者 24.2%、女子志願者 28.9%と最も差が開きました。志願者は、自分で欲しいものを購入したいという意識が見られました。

## ● 総括－アンケート結果から見えてくる志願者動向－／(株)オプト・ジャパン 山本 裕



今年度の出願決定時期における動向を読み取ってみると、志願者は第1志望校を決める際に、バランス良く情報を入手している傾向にあるといえます。

アンケート結果から紐解くと、志願者の 24.3%が第1志望校のオープンキャンパスに高1・高2の時点で参加しています。この層は、第1志望校を早めに選定しており、更に、そのうち、約4割が高3時期にも大学のイベントに参加しています。

これは今年度の出願動向の特徴でもある「安定志向」が影響し、早めに目標校を定め、しっかりと受験に臨みたいという志願者の意向が表れているのではないかと思われます。この傾向は今年以降も継続するとみています。

また、保護者は、大学のオープンキャンパスなど様々なイベントに、志願者と一緒に参加しており、その6割以上が志望校選定に関与しているという結果から、出願大学選定に一定以上の影響力を持っていると考えられます。

大学側は、今後、高校3年生の受験生だけでなく、高校1年生、高校2年生、保護者に向けたアプローチも必要となってくるのではないでしょうか。

株式会社オプト・ジャパン  
代表取締役常務 山本 裕